



2024

総合 I

[社会]

注 意

- 試験時間は、国語と社会を合わせて8:50～9:40の**50分**です。
- 問題は **1** の1つです。
- 解答用紙に、受験番号と氏名を書きなさい。
- 解答はすべて**解答用紙**に書きなさい。
- 先生の指示があるまで、問題用紙をあけてはいけません。
- 問題についての質問はうけません。
- 試験が終わったら、解答用紙を表向きにしておきなさい。

1 旅行について書かれた、次の文章を読み、各問いに答えなさい。

旅行とは、『広辞苑』によると「おもに観光・慰安^{いあん}などの目的で、他の地方に行くこと。たびをすること。」とされていますが、民俗学者^{みんぞく}の柳田國男は、「旅の原型は①租庸調^{そいうてう}を納めに行く道のりだ」と言っています。②律令制の時代^{りつれいせい}は、税の運搬^{うんぱん}は納める側の責任で、期日までに都まで運ばなくてはなりませんでした。

③平安時代^{へいあん}、菅原孝標女^{すがわらのたかすえのむすめ}は、13歳の時に父の任地である上総国^{かずさのくに}から京の都まで旅をしました。父は上総国の役人でしたが、その任期が終わり都へ帰ってくることになったのです。『更級日記^{さらしなにつき}』は、その旅のようすから始まります。その中には、まだ海とつながっていないころの④浜名湖^{はまなこ}のようす^{ようす}が描かれています。

その後、中世には、旅の様子を描いた紀行文学が増えました。これは鎌倉幕府や⑤室町時代^{むろまち}の鎌倉府が鎌倉におかれたことで、京と鎌倉のあいだを往復する機会が増えたこと、そのために道や宿場の整備が行われたことで旅が容易になったためです。

⑥江戸時代^{えど}になると、幕府による道や宿場の整備が進み、旅をする機会はさらに増えました。俳人の松尾芭蕉は、江戸から東北地方、⑦北陸地方^{ほくりく}をめぐるって関西にいたる旅を行い、そのようすを俳句とともに『おくのほそ道』に記しました。このころから旅に、単なる移動から「他の土地を見物すること」という観光の意味が加わってきたのです。そして、⑧伊勢神宮^{いせ}への参詣^{さんけい}が広まり、集団でお参りをすることが定着します。はじめは信仰を理由にしていたものが、しだいに名所巡りや飲食を楽しむ観光へと変化しました。そのため、⑨神社^{しんじ}や寺院^{いんげん}、景勝地^{けいしょうち}を紹介した本や、⑩『東海道中膝栗毛』のような旅行文学も刊行されました。

明治時代のはじめに来日したイギリスの旅行作家イザベラ・バードは、東京から東北・⑪北海道^{ほっかいどう}まで旅をし、のちに『日本奥地紀行』にまとめました。北海道について書かれた部分では、明治時代初期の（ ⑫ ）の生活ぶりが記されています。

⑬第二次世界大戦^{だいにせかいだいせん}中に亡くなった哲学者の三木清は、『人生論ノート』の中で、「旅に出ることは日常の生活環境^{せいかく}を脱けることであり、平生^{へいぜい}の習慣的な関係から逃れることである。旅の嬉しさ^{うれ}はかやうに解放されることの嬉しさである。」と記しています。ここに登場した旅人たちも、日常から抜けだし、解放された気分を味わったことでしょう。

問1 下線部①について、租庸調について説明した次の文A～Cの正誤の組み合わせとして正しいものを、あとのア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- A 租とは、労働力を提供することである。
- B 庸とは、稲を朝廷に納める税である。
- C 調とは、各地の特産物を朝廷に納める税である。

- ア A正 B正 C誤 イ A誤 B誤 C正
- ウ A正 B誤 C誤 エ A誤 B正 C正

問2 下線部②について、飛鳥時代から平安時代のはじめにかけての政治についてのべた次の文ア～エから、**波線部がまちがっているもの**を1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 天智天皇の死後、壬申の乱がおこり、勝利した大海人皇子が天武天皇となった。
- イ 藤原不比等らにより、唐のきまりを手本とした大宝律令が完成した。
- ウ 聖武天皇は、奈良に東大寺、全国各地に国分寺や国分尼寺を建設した。
- エ 桓武天皇は都を平城京に移し、仏教の政治への影響を排除した。

問3 下線部③について、次の文章は平安時代に活躍したある人物についての説明です。この人物の名前を漢字で答えなさい。

この人物は、約50年間にわたって摂政や関白をつとめた。平等院鳳凰堂を建て、晩年はこの別荘で過ごした。

問4 下線部④について、日本にある湖の形を示した次の図（縮尺は異なる）ア～エから、浜名湖にあてはまるものを1つ選び、記号で答えなさい。



問5 下線部⑤について、室町幕府の政治についてのべた次の文ア～エから、正しいものを1つ選び、記号で答えなさい。

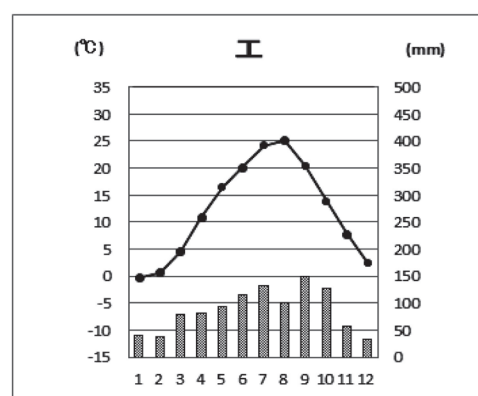
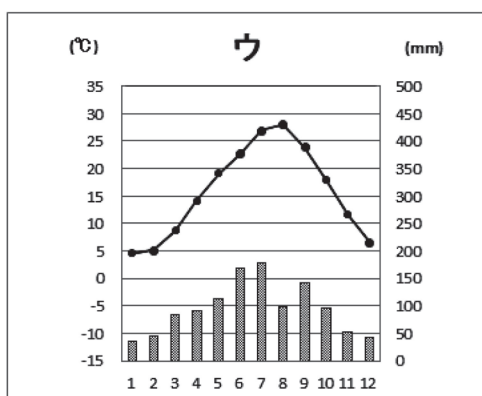
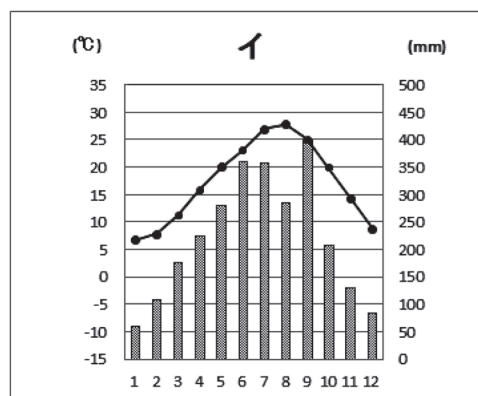
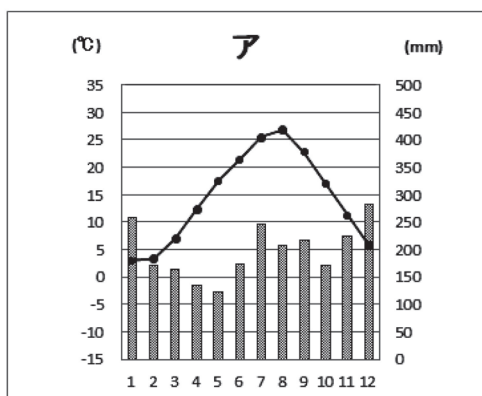
- ア 足利尊氏は、後醍醐天皇^{だいご}の命令で鎌倉幕府を倒し、江戸に新しい幕府をひらいた。
- イ 足利義満は、東山文化を代表する銀閣を建てた。
- ウ 足利義政のころ、応仁の乱が発生し、京都の町は焼け野原となった。
- エ 足利義昭は、明との国交を回復し、商人に朱印状を与えて貿易をさかんにした。

問6 下線部⑥について、江戸時代に活躍した次のAとBの人物の組み合わせとして正しいものを、あとのア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- A この人物は諸大名を一定期間江戸に住ませる参勤交代^{さんきんこうたい}を制度化した。
- B この人物は生き物を大事にし、殺生^{せつしよう}を禁じる生類憐れみ^{あわ}の令を出した。

- ア A—徳川家康 B—徳川綱吉 イ A—徳川家康 B—徳川吉宗
- ウ A—徳川家光 B—徳川綱吉 エ A—徳川家光 B—徳川吉宗

問7 下線部⑦について、次の図のX地点の気温と降水量を示したものを、あとのア～エから1つ選び、記号で答えなさい。(気象庁HPより作成)



問8 下線部⑧について、戦前の日本では、伊勢神宮などの大きな神社は国の保護を受けていましたが、戦後は日本国憲法第20条で以下のように禁止されました。この理由を、**20字以内**で答えなさい。

第20条3項 国及びその機関は、宗教教育その他いかなる宗教的活動もしてはならない。

問9 下線部⑨について、次の文章はある神社について説明したものです。この神社がある都道府県名を漢字で答えなさい。

この神社は、航海の安全を祈って、12世紀に平清盛によって社殿が整えられた。平氏一族の繁栄を祈っておさめられた「平家納経」が今も残されている。1996年に世界文化遺産に登録された。

問10 下線部⑩について、この話の中で主人公たちは、東海道を旅して伊勢神宮へのお参りをします。次の表は、彼らがたどった東海道のうち、現在の神奈川県、静岡県、愛知県、三重県の製造品出荷額、農業産出額、人口を示したものです。静岡県にあてはまるものを表中のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

	製造品出荷額 (億円)	農業産出額 (億円)	人口(万人)
ア	481,864	2,893	752
イ	178,722	659	924
ウ	172,749	1,887	361
エ	107,685	1,043	176

(『データでみる県勢 2023年版』より作成)

問11 下線部⑪について、北海道の生産量が**全国1位ではないもの**を次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア ジャガイモ イ さつまいも ウ 大豆 エ とうもろこし

問12 次の文は、空らん(⑫)にあてはまる民族について説明したものです。これを参考に、空らん(⑫)の民族の名前をカタカナ3字で答えなさい。

この民族は、北海道(かつての蝦夷)に住んでいた民族であり、長い間差別を受けてきたが、近年では法律の整備がおこなわれ、日本の先住民族としての理解が進みつつある。

問13 下線部⑬について、次のア～ウは、第二次世界大戦後の日本のようすを説明したものです。時代の古い順に並べなさい。

- ア 石油危機が発生した。
- イ 高度経済成長がはじまった。
- ウ サンフランシスコ平和条約が結ばれた。

[社会の問題はここまです。]



〔社会〕

解答用紙

1

問1		問2	
問3		問4	
問5		問6	
問7			
問8			
問9		問10	
問11		問12	
問13	⇒	⇒	



受験番号		フリガナ	
		氏名	

得点	
----	--

1

問1	イ				問2	エ				
問3	藤原頼通【漢字指定】				問4	エ				
問5	ウ				問6	ウ				
問7	ア									
問8	宗	教	を	政	治	に	利	用	さ	せ
	な	い	た	め	。	④				
問9	広島（県）【漢字指定】				問10	ウ				
問11	イ				問12	アイヌ【カタカナ3字】				
問13	ウ ⇒ イ ⇒ ア									



配点：40点満点

問8のみ4点。それ以外は各3点×12問0点

受験番号		フリガナ	
		氏名	

得点	
----	--